

鹿 骨 東 小 学 校

鹿骨東小学鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

「夢は正夢」～目標をもち努力する～

江戸川区立鹿骨東小学校

校長 中田 伸代

「大和の国は言霊（ことだま）の幸ふ国と語り継ぎ言い継がれけり」（日本は言霊の霊妙な働きによって幸福をもたらす国。万葉集（5）広辞苑より）とあるとおり、日本では昔から言葉には不思議な力があり、言葉にすることでその力が働いて、言葉どおりの事象がもたらされると信じられていました。

WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）でチームを世界一に導いた、栗山監督の座右の銘は「夢は正夢」だそうです。「夢は思い描くだけではなく、かなえる為にあるもの。そのために何をすべきかを明確にし、常に考えて、実際に努力をする事によって、夢を実現するのだ。」という考えです。栗山監督のその考えをまさに実現しているのが、現在もメジャーリーグで大活躍中の、大谷翔平選手です。大谷選手が花巻高校1年生の時に書いた「目標達成シート」には「ドラフト1位。8球団に指名を受ける」と書かれていたそうです。そしてそこに至るまでに実践すべき習慣を64マスに書き込んだ「オープンウィンドウ64」の中には、「運」を高めるために行う事として「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋掃除」「道具を大切に扱う」「審判さんへの態度」「プラス思考」「応援される人になる」「本を読む」などと野球とは関係のなさそうなことも書かれています。大谷選手は現在でも試合中にもゴミを拾う姿を見ることができます。まさに有言実行。彼の尊敬される人間性は自分で目指して、努力してきたからこそ、身に付いたものであり、きっと他の56の目標も、言葉にする事でやり遂げてきた結果、世界でも一流の選手になることができたのだと思います。

学校では教員たちに「ねらい」と「ゴール」のある授業をしてほしいと話しています。また、「できる」「わかる」授業の工夫をしようと、校内研究会などで外部講師をお招きしながら、よりよい授業づくりに努めています。子供たちにも「夢」＝「願い」をもってその夢に向かって努力する「意欲」と「気力」と「体力」、そして「創造力」を身に付けて欲しいとお話ししました。そのためにも、まずは自分なりの「ゴールイメージ」をもち、そのために何ができるかを考え行動し、「できた」「わかった」という達成感を沢山味わわせる場面を増やしたいと考えています。今年度も学習や行事、委員会やクラブ活動、SDGsの取組などの中で多くの体験をし、「やればできる」「人の役に立つ」自分を感じる中で、子供たちの自己肯定感や自己効力感を高めていけたらと思っています。※自信とは「自己肯定感」（自分大好き）と「自己効力感」（やればできる）から成る。原田隆史「原田メソッド」より

<5月8日以降のコロナ対策について>

●マスクの着脱は個人の判断で行ってください。

（体調不良の際や家族に体調不良者がいる場合などは着用をお願いいたします。）

●本人が発熱や体調不良の際は、無理に登校せず、医療機関の受診をお願いいたします。

5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症上の位置付けが2類から5類に移行します。4年ぶりに鹿骨区民館まつりも再開。6年生はパレードに参加予定です。また運動会も3分割ですが、保護者の方の人数制限は無くして実施予定です。当然昨年までよりも多くの手が予想され、「密」になる事もございます。マスクの着脱については大人も子供も基本各自の判断になりますが、花粉症やその他の理由でマスクをして参加する児童もおりますのでご了承ください。また体調不良の方は、引き続き参観をご遠慮頂くなど、お互いに感染防止に努めながら、今後も行事や参観などを行っていかれたらと思います。なお、連休後の感染状況や子供たちの体調などにより、参観者の人数や方法等が変更になることもございますので、ご理解とご協力をいただければと思います。

